

M-LINK

出力&エネルギー測定用PCインターフェース。単一チャンネル、USB出力。



主な特長

ユニバーサルメーター

全てのヘッドの読取り:

- パワー:サーモパイル、フォトデテクタと焦電
- エネルギー:サーモパイル(シングルショットモード)、フォトデテクタと焦電

FJ エネルギーレベルの測定

M-LINK独自のパルス平均化機能により、パルス対パルスの測定を行う際にパルス間の不整を一定にすることができます。

外部トリガー

M-LINKをパルスレーザやデジタルチョッパーに動機させる

デジタル(USB)アウトプット

M-LINKモジュールを直接お使いのPCに接続

パワフルLABVIEWソフトウェア

機能:

- フル測定器制御:レンジ、トリガー、波長など
- JとJ/cm²またはWとW/cm²のライブディスプレイ
- フル統計:最小、最大、平均、標準偏差、RMS安定性、反復率など
- グラフィックディスプレイ:ストリップチャート、ヒストグラム、チューニングニードルなど
- データファイル収集と分析

仕様

コントローラおよびGUI仕様	
デジタル表示サイズ	コンピュータ画面
データ表示	Real Time, Scope, Averaging, Statistics and Digital Tuning Needle
アナログ出力	0~2ボルト
外部トリガ	4.5~10 V @ 20 mA、光学的に絶縁
シリアルコマンド方式	USB
出力メータ仕様	
出力範囲	4 pW - 30 kW
デジタル分解能	Current Scale/3000
モニター精度	±0.5 %、フルスケール
統計値	現在値、最大、最小、平均、標準偏差、RMS&PTP安定性、時間
エネルギーメータ仕様	
エネルギー領域	30 fJ to 30 kJ
デジタル分解能	現在スケール/3000
モニター精度	1 % ± 2 digits (<1 kHz)
ソフトウェアトリガーレベル	0.1~99.9 %、0.1 %分解能、デフォルト2 %
繰り返し率 ¹	1 000 Hz
リアルタイムデータ転送	1 000 Hz、タイムスタンプ付、不明点なし
統計値	現在値、最大、最小、平均、標準偏差、RMS&PTP安定性、パルス数、繰り返し率および平均出力

1. 最大繰り返し率はPCおよびディテクタ速度によって異なる場合があります。

物理的特徴

ORDERING INFORMATION

M-LINK

201850

INTERESTED IN THIS PRODUCT?

見積をリクエスト

Find your local sales representative at gentec-eo.com/contact-us